



きれいに焼き上がったパンに喜ぶ参加者

親子で手作りパン 焼き上がりに歓声

3月10日、子育て支援センターが主催する子育て講座で「パン作りinCafeやどり木」が開催され、6組の親子が参加しました。

講座は遠藤愛美さん（新町）を講師に、小さな子どもと一緒に作れるレシピで、あんパンとウィンナーパンを手作り。参加者はわきあいあいと交流しながらパン生地をこね、子どもたちも「ふわふわしている」と夢中になっていました。ふっくらときつね色に焼き上がったパンがオーブンから出てくると歓声が上がリ、子どもたちはおいしそうに頬張っていました。

手作り天体望遠鏡 満天の星空を観察

町観光協会（遠藤裕樹会長）が主催するくずまき星空観察会は3月11日、森のこだま館で開催され親子連れなど15人が参加しました。

講師は齊藤政宏さん（滝沢市）で、今回の観察会では土星の輪も観察できる天体望遠鏡を製作。参加者は望遠鏡の仕組みを学びながら組み立て、完成すると早速夕暮れの空に輝き始めた星を探していました。日が暮れると齊藤さんの解説で満天の星空を観察し、中村諒くん（小屋瀬小5年）は「望遠鏡を作るのは難しかったが星が大きくはっきり見えた」と話していました。



手作りの天体望遠鏡で夕暮れの空に星を探す子どもたち

火災時の対応を確認 くずま～る避難訓練

3月15日、くずま～るで初となる避難訓練が行われました。

今回の訓練は2階の調理室で火災が発生した想定で行われ、職員は消火栓からホースを伸ばしたり、残留者を確認しながら防火扉を閉めるなど、新庁舎の新しい設備で迅速かつ的確な行動がとれるよう訓練しました。盛岡中央消防署葛巻分署の小綿喜美男分署長代理は「職員のチームワークを発揮し、住民を安全に避難誘導できるように繰り返し訓練してください」と講評し、職員は気を引き締めていました。



火元に消火器や消火栓のホースを向けて訓練する職員



意見を出し合う自治会長の皆さんと講師の中村さん（円内）

地域課題解決へ向け 自治会連合会研修会

2月24日、町自治会連合会研修会がグリーンテージで開催され、各自治会役員など33人が参加しました。

（一社）いわて地域創景の中村恭香さんが「住民がつくる持続可能な地域づくり」と題して講演を行い、高齢化などで活動が難しくなった地域の草刈りや清掃を、NPOに仕事として依頼して解決している事例などを紹介しました。参加者は「仕事を生み出すことで地域に人を呼び込んで」などさまざまな意見を出し合い、自治会活動の課題や解決策を共有していました。

華やかな展示楽しむ まちなかひなまつり

3月3日から5日の3日間、商工会女性部と町婦人連絡協議会が「まちなかひなまつり」をまちの駅近くの空き店舗で開催し、約200人が来場しました。

会場にはひな壇や手作りのつるし雛、干支の編みぐるみ、着物の帯を再利用したタペストリーなど色鮮やかな小物が展示されました。見学に訪れた葛巻保育園の園児たちは、華やかなひな人形やつるし雛に目を輝かせ、季節を感じられる数々の作品に少し早い春の訪れを感じた様子でした。



華やかな展示を眺める葛巻保育園の園児たち

葛巻中学校福祉用具寄贈 くずま～るに歩行器

葛巻中学校の生徒会は3月9日、廃品回収の収益金で購入した高齢者用歩行器1台を町に寄贈しました。

贈呈式では生徒会長の神谷侑良さん（2年）と副会長の藤森大和さん（同）が「町の福祉に役立ててください」と鈴木重男町長に歩行器を手渡し、鈴木町長は「親子での活動、資源回収、福祉の支援、そして長年の継続と幾重にも素晴らしい活動で、心より感謝します」とあいさつしました。贈られた歩行器はくずま～るで高齢者の皆さんに利用していただきます。



鈴木町長に歩行器を贈呈する侑良さん⑩と大和さん